



防-12

スリップフォーム工法によるLNGタンクPC防液堤構築

大阪ガス(株)泉北製造所第一工場で建設中の地上式タンクとして世界最大となる貯蔵容量 23万m³のPCLNGタンクにスリップフォーム工法を適用し、プレストレストコンクリート製防液堤工事の大幅な工期短縮を図りました。スリップフォーム工法は型枠・足場が一体となった装置を防液堤側面に配し、ジャッキにより装置全体を上昇させながら鉄筋組立とコンクリート打設を平行して連続的に躯体を構築する工法です。本工法を日本で初めてPCLNGタンクに採用することにより、これまで約10か月必要とされた防液堤の構築を20日間と大幅な工期短縮を実現しました。



スリップフォーム工法によるLNGタンクPC防液堤構築状況

担当部署 大阪本店 土木事業部 工事部 担当者 船谷 幸一

Tel 06-6456-7020 Fax 06-6456-7196

大林組の防災・復興技術

アップサイクルブロック

震災等で発生したがれき残渣を有効活用した建設資材です。最終処分場の容量不足と被災地の建設資材不足を同時に解消し、まちの復興に大きく貢献します。



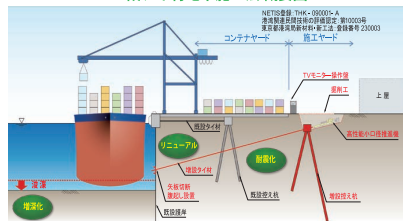
<http://www.obayashi.co.jp/>

NETIS:THK-090001-A

2段タイ材地下施工法

既設岸壁の背面から新たなタイ材を地中掘削により既設岸壁に設置する工法です。船舶接岸、荷役に影響を与えずに港の増深化ができ、耐震性能を向上します。

2段タイ材地下施工法 概要図



NETIS:KTK-140001-A

高耐久海水練りコンクリート

直径30~50cmの大割がらを粗骨材として、海水をモルタルの練混ぜ水として使用し、コンクリートを成形する技術です。コンクリートからの効率的な再利用が可能です。

